

製品一覧表

製品分類	製品名	入目 (内訳)	製品種別	備考
防水材	コスミックPRO・ゼロワンH	18kg/缶	特定化学物質無配合1成分形ウレタン塗膜防水材	平場用 JIS A 6021 硬化物密度1.3
	コスミックPRO・ゼロワンH 立上り用	18kg/缶・8kg/缶	特定化学物質無配合1成分形ウレタン塗膜防水材	立上り用 JIS A 6021 硬化物密度1.3
	コスミックPRO・ゼロワンH 中粘度	18kg/缶	特定化学物質無配合1成分形ウレタ塗膜防水材	中粘度 JIS A 6021 硬化物密度1.3
希釈剤	CM環境希釈剤	12kg/缶	希釈剤	
硬化促進剤	PRO・ゼロワン専用促進剤 Cタイプ	3.3kg/ポリビン	硬化促進剤	PRO・ゼロワン専用硬化促進剤
	PRO・ゼロワン専用促進剤 速硬化タイプ	3.3kg/ポリビン	硬化促進剤 (速硬化タイプ)	PRO・ゼロワン専用硬化促進剤
プライマー	コスミック・エコプライマー バリア	15kg/set (主剤6kg×2・ 硬化剤1.5kg×2) プラスチックペール缶	2液エポキシ系 (水系)	AK工法、SK工法専用プライマー
	コスミック・プライマー-E	14kg/缶	1液湿気硬化型ウレタン系 (弱溶剤系*)	ウレタン下地用層間プライマー 塩ビシート下地用プライマー
	コスミック・プライマー-U	16kg/缶	1液湿気硬化型ウレタン系 (弱溶剤系*)	コンクリート・モルタル下地用プライマー
トップコート	コスミック・トップE高反射	15kg/set (主剤6kg・硬化剤9kg)	2液アクリルウレタン系 (弱溶剤系*)	光沢仕上げのみ 高反射タイプ 100ライトグレー、200ミントグリーン、17タンブラウン、 96ブラウン、97ライトブラウンのみ
	コスミック・ゼロトップAS 高反射	15kg/set (主剤6kg・硬化剤9kg)	2液アクリルシリコン系 (弱溶剤系*)	光沢仕上げのみ 高反射タイプ 100ライトグレー、200ミントグリーン、17タンブラウン、 96ブラウン、97ライトブラウンのみ
	コスミック・フッ素ゼロトップ	10kg/set (主剤4kg・硬化剤6kg)	2液フッ素樹脂系 (弱溶剤系*)	光沢仕上げのみ 高反射タイプ 100ライトグレー、200ミントグリーン、17タンブラウン、 96ブラウン、97ライトブラウンのみ
	コスミック・エコトップONE 高反射	15kg/缶	1液アクリルウレタン系 (水系)	光沢仕上げのみ 高反射タイプ 100ライトグレー、200ミントグリーン
	コスミック・トップSQ	15kg/set (主剤6kg・硬化剤9kg)	2液アクリルウレタン系 (溶剤系) 速乾タイプ	光沢仕上げのみ 高反射タイプ 100ライトグレー、200ミントグリーン、17タンブラウン、 96ブラウン、97ライトブラウンのみ
	コスミック・トップUV	14kg/set (主剤6kg・硬化剤8kg)	2液アクリルウレタン系 (溶剤系)	光沢仕上げのみ 高反射タイプ 100ライトグレー、200ミントグリーン、17タンブラウン、 96ブラウン、97ライトブラウンのみ
テープ	CMメッシュテープ	幅100mm×長さ50m/巻	ガラス繊維	各種補強用テープ

※ 弱溶剤系とは、トルエンやキシレンの他、有機溶剤中毒予防規則の対象物質を配合していないことを言います。

特定化学物質無配合
1成分形ウレタン塗膜防水材

コスミック PRO・ゼロワンH改修シリーズ

砂付き露出
アスファルト防水
改修仕様

塩ビシート
防水改修仕様

アスファルト
シングル屋根
防水改修仕様

免責事項：シーカ製品の施工および使用に関する推奨その他の情報は、当社の現時点での知識および経験に従ったものであり、通常の条件下で当社の推奨に従い適切に保管・処理・施工されることを前提としております。実際には、材料・接着面・現場の条件がそれぞれ異なるため、ここに記載されている情報、書面による推奨その他のアドバイスは、商品性や特定目的への適合性について保証するものではなく、また法的関係に基づく責任を生じさせるものではありません。ユーザーは、シーカ製品がユーザーの意図する施工方法および目的に適しているかどうかを、必ず事前に確認してください。特に、施工、施工管理及び施工に関する報告書の作成はユーザーの責任において行うものであることにご留意ください。当社は、第三者の財産権を尊重し、製品の特性を変更する権利を有します。すべての注文は、当社の最新の販売・納品条件に従って受注します。ユーザーは常に、使用する製品のプロダクトデータシート及び実施する施工方法についての施工要領の最新版をご参照ください。プロダクトデータシート及び実施する施工方法についての施工要領の最新版は、ご請求いただければ当社がご提供いたします。

2023年4月1日よりシーカグループの株式会社ダイフレックスは日本シーカ株式会社に統合され、新たにシーカ・ジャパン株式会社としてスタートいたしました。

製品・工法に関するお問い合わせはホームページのブランドサイト
<https://www.dyflex.co.jp/cosmic/>
にてご確認のうえ各地域のオフィスまでお願い申し上げます。

2024年5月版

(24.5月現在)24.05.500 SJ

特定化学物質無配合
1成分形ウレタン塗膜防水材料

コスミックPRO・ゼロワンH改修シリーズ



工法の特長

- シームレスな防水層が形成されます。
- 2回目以降は塗り重ね（オーバーレイ）改修が可能のためライフサイクルコストが低減できます。
- 狭小部や複雑な形状にも施工が可能です。

コスミックPRO・ゼロワンHの特長

世界基準の環境対応

- 特定化学物質^{*}無配合
（^{*}TDI（トリレンジイソシアネート）
MOCA（3,3-ジクロロ-4,4-ジアミノフェニルメタン））
- TX^{*}フリー（^{*}トルエン・キシレン）
- 鉛・DOPフリー
- F☆☆☆☆取得
- シックハウスを引き起こす物質^{*}を含みません。^{*}厚生労働省ガイドラインに掲載されている14物質
- 産業廃棄物の発生抑制

塗膜性能のアップと塗膜品質の確保

- 従来のウレタン防水材料の性能に比べ大きくレベルアップした、高物性、高耐候、高耐久の塗膜性能です。
- 2成分形ウレタンで起こる配合ミス、攪拌不良による硬化不良や物性未発現は無く、常に一定の塗膜品質が確保できます。

塗施工効率が向上し、工期短縮にも寄与

- 混合攪拌の必要が無く、すぐに塗布施工できます。
- 攪拌、小分けの必要性が無いので、小面積の施工、ベランダ、側溝、巾木等の施工がスムーズになります。
- 硬化促進剤の添加により、速硬化、厚塗りが可能です。また、冬期の翌日施工が可能になります。



高強度

高耐久

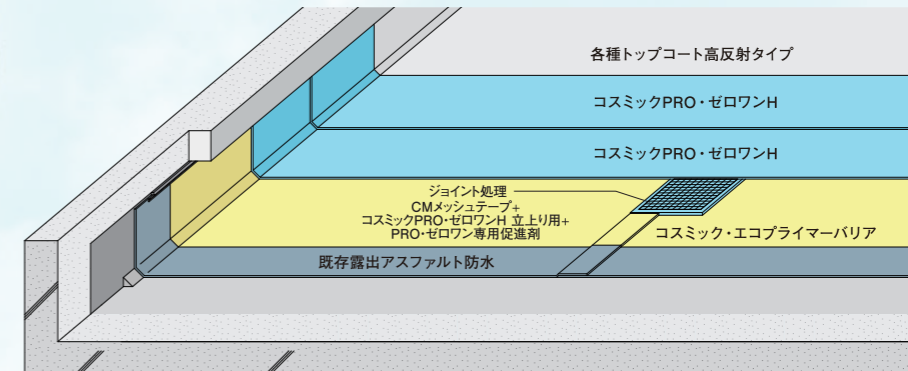
高品質

JIS A 6021 屋根用ウレタンゴム系
高伸縮形 認証品

砂付き露出アスファルト防水改修仕様

従来、砂付き露出アスファルト防水をウレタン塗膜防水工法で改修する場合は、アスファルト分の移行などがあり直接施工することが出来ず、ポリマーセメントモルタルや通気緩衝シート等の絶縁処理が必要となり、工期とコストの負担が生じていました。

コスミックPRO・ゼロワンHは、砂付き露出アスファルト防水に直接塗布が可能で、シームレスな防水層を形成します。



平場

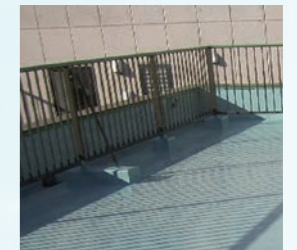
ZSH-20AK

工程	使用材料	使用量 (/㎡)
1	コスミック・エコプライマーバリア	0.3kg
2	CMメッシュテープ+ コスミックPRO・ゼロワンH 立上り用+ PRO・ゼロワン専用促進剤 (ジョイント処理) ^{*1}	1m/m 0.3kg/m
3	コスミックPRO・ゼロワンH	1.3kg
4	コスミックPRO・ゼロワンH	1.3kg
5	各種トップコート高反射タイプ ^{*2}	0.2kg ^{*3}

プライマー塗布



2層目



立上り

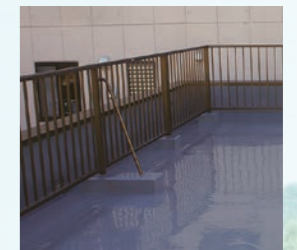
ZVH-20AK

工程	使用材料	使用量 (/㎡)
1	コスミック・エコプライマーバリア	0.3kg
2	CMメッシュテープ+ コスミックPRO・ゼロワンH 立上り用 (ジョイント処理) ^{*1}	1m/m 0.3kg/m
3	コスミックPRO・ゼロワンH 立上り用	1.3kg
4	コスミックPRO・ゼロワンH 立上り用	1.3kg
5	各種トップコート高反射タイプ ^{*1}	0.2kg ^{*2}

ジョイント補強増し塗り (CMメッシュテープ含む)



トップコート塗布



^{*1} ジョイント処理の塗布幅は100~200mmです。
^{*2} 使用材料一覧よりご確認ください。
^{*3} コスミック・エコTOP ONEは0.3kg (0.15kg×2回塗り)です。

下地処理:

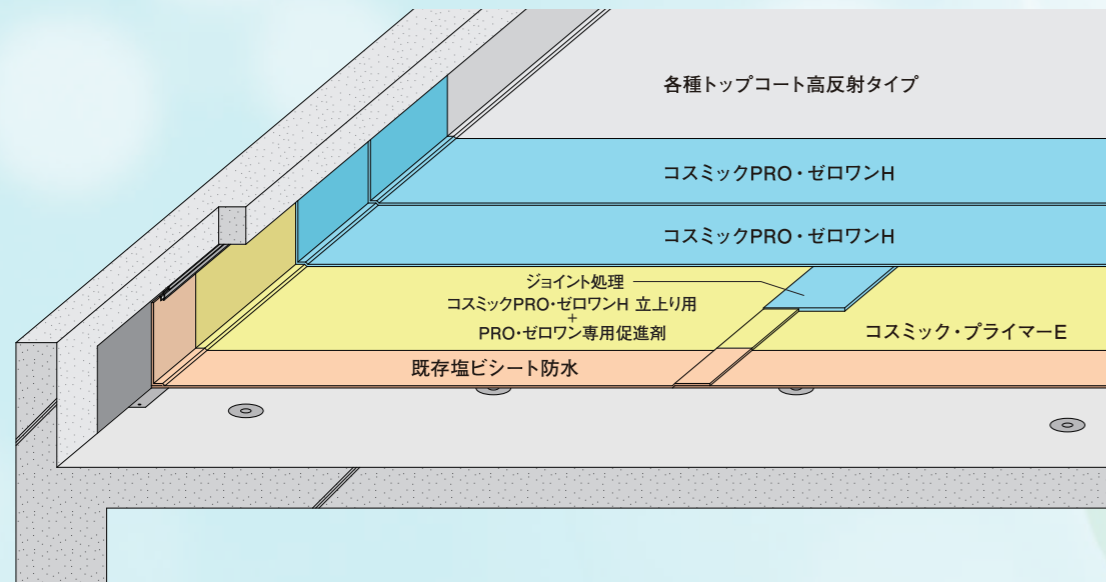
- ・既存の砂付きアスファルトの立上り、入隅部の浮き、たるみ、口開きがある場合は、炙り戻しもしくは、撤去する場合があります。
- ・現場の状況により、下地処理をする場合があります。(例:浮き、膨れの場合は、炙り戻し。)
- ・砂取れや、アスファルトの露出が激しい場合は、コスミック・エコフィラーによる下地調整を行なってください。

1層目



塩ビシート防水改修仕様

PRO・ゼロワン専用促進剤をコスミックPRO・ゼロワンH立上り用に混入することで、シートジョイント等を厚膜で補強し、全体をコスミックPRO・ゼロワンHで直接塗布して高物性でシームレスな防水層を形成します。



※既存塩ビシート防水の状態によってはジョイント部や機械的固定工法のディスク盤部にメッシュ補強が必要になります。
 ※既存の塩ビシート防水の立上り、入隅部の浮き、平場のフクレがある場合は撤去する場合があります。

平場

ZSH-20EK

工程	使用材料	使用量 (/㎡)
1	コスミック・プライマーE	0.15kg
2	コスミックPRO・ゼロワンH 立上り用 + PRO・ゼロワン専用促進剤 (ジョイント処理) ^{※1}	0.2kg/m
3	コスミックPRO・ゼロワンH	1.3kg
4	コスミックPRO・ゼロワンH	1.3kg
5	各種トップコート高反射タイプ ^{※2}	0.2kg ^{※3}

ジョイント補強増し塗り



コスミックPRO・ゼロワンH塗布



立上り

ZVH-20EK

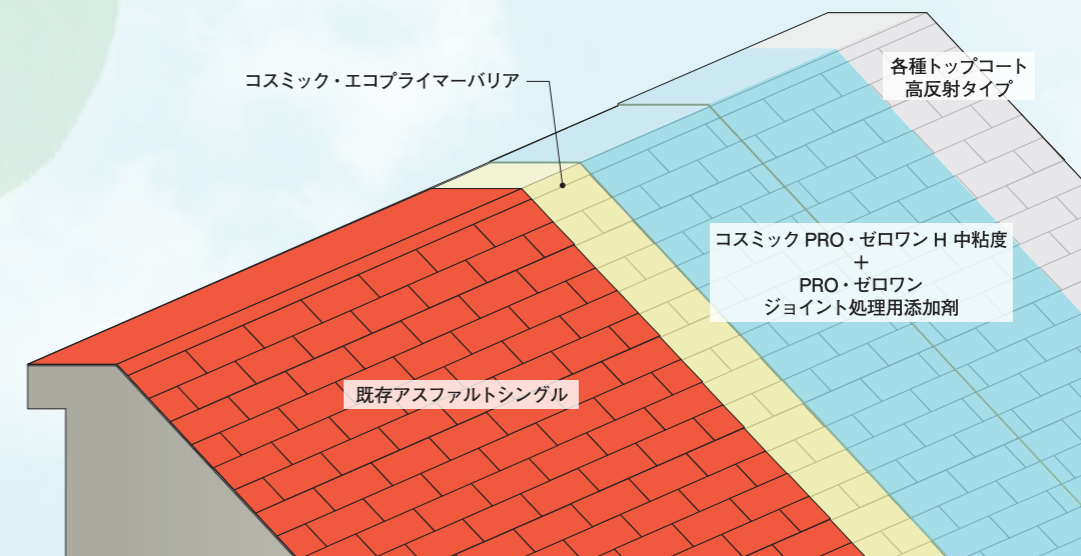
工程	使用材料	使用量 (/㎡)
1	コスミック・プライマーE	0.15kg
2	コスミックPRO・ゼロワンH 立上り用 (ジョイント処理) ^{※1}	0.2kg/m
3	コスミックPRO・ゼロワンH 立上り用	1.3kg
4	コスミックPRO・ゼロワンH 立上り用	1.3kg
5	各種トップコート高反射タイプ ^{※2}	0.2kg ^{※3}

※1 ジョイント処理の塗布幅は100mm程度です。
 ※2 使用材料一覧よりご選定ください。
 ※3 コスミック・エコトップONEは0.3kg (0.15kg×2回塗り) です。

アスファルトシングル屋根防水改修仕様

従来、アスファルトシングル屋根の改修は状況に応じて撤去方式又はかぶせ方式を選定し、同種のアスファルトシングル材で行うのが一般的です。しかし、かぶせ方式を採用しても納まりの問題で、2回目以降の改修では撤去が必要となります。

1成分形ウレタン塗膜防水材コスミックPRO・ゼロワンHによる改修では、直接塗布が可能でシームレスな防水層を形成します。



ZSH-20SK

工程	使用材料	使用量 (/㎡)
1	コスミック・エコプライマーバリア	0.3kg
2	コスミックPRO・ゼロワンH 中粘度 + PRO・ゼロワンジョイント処理用添加剤	1.4kg
3	コスミックPRO・ゼロワンH 中粘度 + PRO・ゼロワンジョイント処理用添加剤	1.4kg
4	各種トップコート高反射タイプ [※]	0.3kg (2回塗り)

※使用材料一覧よりご選定ください。

■ PRO・ゼロワン 専用促進剤について

コスミックPRO・ゼロワンシリーズには、専用促進剤があります。
厚塗りをしたい場合、冬場に硬化時間を短縮したい場合など、用途に応じて使用します。

PRO・ゼロワン専用促進剤 Cタイプ

厚塗り対応する場合や硬化促進する場合に添加します。

〈通年用〉



※計量カップが製品に付属しております。

液色	荷姿
青	3.3kg (ポリビン)

PRO・ゼロワン専用促進剤 Cタイプ 添加量目安

コスミックPRO・ゼロワン Hの量 (kg)	添加量 (容量)	
18kg (1缶)	280ml (約1.6%)	カップすりきり2杯
9kg (半分)	140ml (約1.6%)	カップすりきり1杯
4.5kg (1/4)	70ml (約1.6%)	付属カップ標線で計量

※ PRO・ゼロワン専用促進剤Cタイプ 1ビンでPRO・ゼロワン約12缶に使用できます (1.6%添加時)。(1.3%添加の場合は約14缶、2.0%添加の場合は約10缶です)
※ 別途計量して使用する場合は「コスミックPRO・ゼロワン専用促進剤Cタイプ」の添加量は1.3%~2.0%までとしてください。

<使用例>

1) Cタイプ添加時の硬化時間目安 (塗布量2.0kg/m²以下の場合)

コスミック PRO・ゼロワン の季節区分	PRO・ゼロワン 専用促進剤の 季節区分	5℃	10℃	20℃	30℃
冬用	添加	16時間	10時間	5時間	—
	なし	24時間	16時間	10時間	—
春秋用 夏用	添加	—	20時間	16時間	5時間
	なし	—	24時間	16時間	7時間

— 適応外

5℃を下回る極寒時においては、硬化が遅くなります。

2) 厚塗り施工時に次工程に移れる時間 (3mm/m²塗布した場合)

コスミック PRO・ゼロワン の季節区分	PRO・ゼロワン 専用促進剤の 季節区分	5℃	10℃	20℃	30℃
冬用	春秋冬用	16時間	10時間	5時間	—
春秋用 夏用	春秋冬用	—	20時間	16時間	5時間

PRO・ゼロワン専用促進剤 速硬化タイプ

〈通年用〉



※計量カップが製品に付属しております。

かつてない硬化時間の短縮を実現し、冬期の施工で活躍します。

液色	荷姿
ダークグリーン	3.3kg (ポリビン)

PRO・ゼロワン専用促進剤 速硬化タイプ 添加量目安

PRO・ゼロワンの量 (kg)	添加量 (容量)	
18kg (1缶)	280~560ml	カップすりきり2杯~4杯
9kg (半分)	140~280ml	カップすりきり1杯~2杯
4.5kg (1/4)	70~140ml	カップ標線で計量 もしくはカップすりきり1杯

※ 付属のカップは「すりきり」で140mlです。
※ 添加量は1.5%~3.0%までとしてください。3.0%を超えて添加した場合は物性が低下する恐れがあります。

<使用例>

1) 硬化時間の目安

(専用促進剤なしの場合の塗布量: 2.0kg/m²以下、添加する場合の塗布量: 3.9kg/m²以下)

コスミック PRO・ゼロワン の季節区分	PRO・ゼロワン 専用促進剤 速硬化タイプ添加量	5℃	10℃	20℃	30℃
冬用	3.0%	4時間	4時間	3時間	—
	1.5%	6時間	5時間	4時間	—
	なし	翌日			

注意(1) 添加する際は添加量を守ってください。
注意(2) 5℃以下では硬化が著しく遅くなります。
注意(3) 添加後は、電動攪拌機で十分に攪拌作業を行ってください。

PRO・ゼロワンジョイント処理用添加剤 添加量について

配合比*	
コスミックPRO・ゼロワンH 中粘度	PRO・ゼロワンジョイント処理用添加剤
18	1.4

コスミックPRO・ゼロワンH 中粘度 1缶に対し、PRO・ゼロワンジョイント処理用添加剤を1本添加します。

※重量比

施工条件・注意事項

■ 施工条件

以下の項目をご参考に、現場に即した適切な処置を行ってください。

- (1) 下地の乾燥が十分であること。
 1. 新設する防水層に支障が生じないよう、高圧水洗浄後は十分に乾燥させる。
- (2) コンクリートおよびモルタル部が健全であること。
 1. 下地面は平滑にする。
 2. 浮き・表面剥離等の脆弱部および鉄筋・番線等の突起物は除去する。
 3. 豆板・気泡・あばた・目違い・段差・砂すじ等の表面不具合に対する処置を施す。
 4. 露筋・爆裂は脆弱部を撤去し、鉄筋の錆を落した後断面修復材で処置を施す。
 5. 立上りも平場と同様に平滑にし、凹凸や不具合も平場と同様の処置を施す。また水切りを良くし、雨仕舞いの納りをよく検討しておく。
- (3) 排水勾配は排水に支障がない程度とする。
 1. 水勾配は 1/100 以上とする。
 2. 既設のルーフトレンや排水落水口等の周囲の水はけが著しく悪い場合は、周囲のハツリ撤去や納りの検討を行って勾配修正を施す。
 3. 改修用ドレンはウレタン塗膜防水用を使用し、塗りかけ幅を 100mm 以上確保する。また設置に際しては排水面積計算を行い、場合によってはオーバーフロー管の設置や既設ドレンの継続使用を行う。
- (4) 下地表面がよく清掃されていること。
 1. プライマーやボンドの接着性を阻害させ、また防水層を劣化させるような塵埃・油脂類・鉄錆等は除去する。
 2. ドレン付近に堆積した泥土やゴミ、繁茂しているコケ・植物等も完全に除去する。
- (5) 防水層に支障があるひび割れ・打継ぎに適切な処置が施されていること。
 1. 防水層に支障が無いひび割れ（概ね 1.0mm 未満）にはウレタン塗膜防水材またはウレタンシーリング材の擦り込みを施す。但し通気緩衝シートを張る場合は、この限りでは無い。
 2. 防水層に支障があるひび割れ（概ね 1.0mm 以上）や打継ぎにはUカット後ウレタンシーリング材を充填するか補強布の増し張り、あるいは両方の処置を施す。但し通気緩衝シートを張る場合は、この限りでは無い。
 3. 誘発目地・化粧目地には予めウレタンシーリング材を充填しておき、補強布の増し張りを施す。但し通気緩衝シートを張る場合は、この限りでは無い。
- (6) 入隅および出隅が適切に処理されていること。
 1. 入隅および立上りの入隅は通りよく、直角とする。また出隅および立上りの出隅は通りよく、R 面または 45° / W=5mm 以上（メーカー推奨値 15 ~ 30mm 程度）の面取りを施す。
- (7) コンクリート基礎廻りで適切な雨仕舞いができること。
 1. 架台の下部に隙間がある場合はシーリング材の充填を施す。
 2. 既設の防振ゴムが著しく劣化している場合は取替えを行うか、余剰分を切除した後入隅にシーリング材を打ち、コンクリート基礎ごと新規ウレタン塗膜層で巻き込む。また挙動部は補強布による増し張りを行う。
- (8) 金属類の取合いが適切に処置されていること。
 1. 防水層と取合う金属部分は表面の汚れ・油脂類・錆・塗料を除去し、プライマーの接着が阻害されないようにする。
 2. 発錆や腐食が進行し、著しく劣化したものは交換をする。
 3. 固定不良が無いことを確認する。また挙動が頻繁あるいは大きいと思われる箇所については、絶縁処理もしくは補強布による増し張りを施す。塗り掛け幅は 100mm 以上（推奨値）を確保する。
 4. ウレタン塗膜防水が掛かる部分は目荒し研磨（サンドペーパー # 100 程度またはサンダー掛け）を行い、その後脱脂処理を施す。とくに「溶融亜鉛メッキ」等、十分な接着力を得られない可能性がある金属下地の場合は入念に行う。
- (9) シーリング材の設置が適切にされていること。
 1. 劣化が進行しているシーリング材は撤去し、打替えを行う。
 2. 防水層に支障を生じさせないように、シーリング材の種別選択は適切に行うこと。
 3. 防水層端末・金物の取合い等、必要に応じて適切にシーリング材が設置されていること。

〈 共通事項（施工） 〉

- ウレタンおよびプライマー・トップコートの施工中、または硬化養生中に降雨・夜露等の水分にさらされる可能性がある場合は施工を控えてください。とくに水系材料は気温によって硬化時間が大きく左右されるため、注意してください。
- 特定化学物質障害予防規則に規定される材料を使用する場合は、同規則に従い「特定化学物質作業主任者」を選任するなど法令順守をお願いします。
- 本カタログに掲載されている全ての工法は、必ず指定のプライマーを選定してください。
- 使用する材料は必ず保存期間内のものをご使用ください。
- 材料の扱いに際しては SDS（安全データシート）をよく読み、適切な扱いを行ってください。
- 材料は直射日光や風雨に晒される場所を避け、冷暗所にて貯蔵・保管してください。
- 材料の貯蔵・保管場所へは作業員以外の立ち入りを禁止し、また転倒防止や火気厳禁等の安全対策を講じてください。
- 産業廃棄物（廃材・廃液）は適切に処理してください。
- 外断熱工法の施工や既設防水層に断熱板が設置されている場合、施工現場が湖沼や河川の近くである場合、また夜間の気温が下がる時は結露が生じることが多くなります。とくに午後からの塗布作業には十分注意してください。
- ウレタン塗膜防水材の塗布後に降雨・降雪または夜露等の水気にさらされた場合や、塗継ぎ・増塗りおよびトップコートの塗布が翌日以降になる場合は、次工程で塗布する材料との接着力低下を防止するために表面を良く清掃し、層間プライマーの塗布を行ってください。
- 風通しの悪い場所で施工する場合は防毒マスクの着用や換気装置の設置を行い、十分な安全対策を講じるとともに、材料の硬化状況にもご注意ください。
- 「コスミック PRO・ゼロワン」は 1 工程で塗布する上限を守り、厚塗りをを行う場合は必ず専用促進剤を添加してください。
- 「コスミック PRO・ゼロワン」は閉封後外気的水分（湿気）に触れることで表面から硬化していくため、塗布作業中は容器内の材料の表面を時折なぞるようにして表面の硬化を防いでください。また表面に硬化物が発生した場合は必ず除去してください。
- 「コスミック PRO・ゼロワン」は高温・多湿の環境下で施工する場合に硬化が速くなりますので、塗布方法や塗継ぎ時間を考慮して施工してください。
- 2 成分形タイプの製品は、必ず主剤と硬化剤の割合を守ってください。
- 2 成分形タイプの材料攪拌は、既定の配合比を守り攪拌機で行ってください。なお攪拌機はモーターの出力が大きく、かつ回転の遅いものを使用してください。
- ウレタン塗膜防水材を希釈する場合は、専用の希釈剤を規定量を守ってご使用ください。
- 冬季などでウレタン塗膜防水材の硬化を早める場合には、必ず専用の硬化促進剤を規定量を守ってご使用ください。（新規）アスファルトルーフィングや塩ビシート、およびアスファルトシングルのラップジョイントや張り重ね部分の段差を施工する際は、塗膜厚さの確保やピンホール発生の防止に注意し、とくに入念にウレタン塗膜防水材を塗布してください。状況によっては工程数を増やす等の措置を講じてください。
- アスファルトルーフィングや塩ビシート、およびアスファルトシングルのラップジョイントや張り重ね部分の段差を施工する際は、塗膜厚さの確保やピンホール発生の防止に注意し、とくに入念にウレタン塗膜防水材を塗布してください。状況によっては工程数を増やす等の措置を講じてください。

〈 共通事項（仕上り） 〉

- 下地の不陸の影響により、仕上りが平滑にならない場合があります。とくに既設アスファルトルーフィングやシート防水材のラップジョイント部分の凸部が目立つ場合があります。
- 本カタログに掲載されている全ての工法はトップコートを選定してください。
- 現場施工の特性上トップコートの仕上りは必ずしも均一になりません。
- 各高反射トップコートは製品特性や施工方法の影響により艶に差が生じる場合があります。

■ 製品の取り扱いに関する注意事項（全仕様共通）

使用製品については事前にSDS[®]（安全データシート）を入手の上よく理解し、運搬や貯蔵・保管、危険性または有害性の情報が確実に作業者に伝達され、適切な管理と取扱いによって事故を防止するように周知徹底を心掛けてください。

〈 使用材料・機器の保管および取扱い 〉

- 労働安全衛生法特定化学物質障害予防規則（特化則）対象の特定化学物質が含まれている製品を取扱う場合は、同規則に従って施工を行ってください。
なお具体的な対応は一般社団法人建築防水安全品質協議会著「特定化学物質障害予防規則に対応したウレタン塗膜防水工事指針」をご参照ください。
- ※「コスミック PRO・ゼロワン」は特定化学物質無配合です。
- 労働安全衛生法およびその関連法規に健康管理上の規制が定められています。
とくに通風・換気条件の悪い場所での取扱いに関しては、機械的換気を行う等の措置をとる必要があります。
- 消防法およびその関連法規に火災安全上の規制が定められています。
各規制を十分に調査し必要な手続きをとる一方、火災予防のため施工中に近接した箇所で火気を使用する作業は避け、また使用材料は密封状態で貯蔵・保管し、火気に十分注意してください。（消防法で規制される保管量につきましては次頁をご参照ください。）
- 使用材料は変質劣化を防止するために直射日光や風雨に晒される場所を避け、密封した状態で冷暗所にて貯蔵・保管してください。
- 材料の貯蔵・保管場所へは作業員以外の立ち入りを禁止し、また荷崩れ防止（縦積み3段まで）や火気厳禁等の安全対策を講じてください。
- 不織布シートや断熱材、紙包装・段ボール入りの製品は水に濡れないように注意してください。
- 開封後残った材料は確実に閉栓し、その後は速やかに使い切ってください。
また「コスミック PRO・ゼロワン」は外気の水分（湿気）に触れることで表面から硬化していきます。休憩等、作業を中断する際は不透湿シートで表面を覆うなどの処置を行ってください。
- 「コスミック PRO・ゼロワン」の表面に硬化物が生じた場合は、必ず取り除いて使用してください。
- エマルジョン形の製品は凍結する恐れがあるため、5℃以下の低温にならないように貯蔵・保管してください。
- 使用材料の運搬および揚げ降しの際は落下事故を防止するよう十分に注意してください。
また取っ手に極端な負荷を掛けると外れる恐れがあります。電動ウィンチ等で揚げ降しを行う場合は必ずキャリー等を使用してください。
- 吹付け機や攪拌機、計量台秤等の機器は使用する前に正常に作動することを確認してください。
- コテ・ハケ・ローラー等の道具に異物や異種材料等が付着していると不具合発生の原因となります。
使用後は廃棄またはよく洗浄するようにしてください。

〈 作業環境 〉

- 施工時の気象条件には充分注意し、降雨・降雪時またはこれらが予想される場合は施工しないでください。
- 著しく気温が高い場合、とくに直射日光のあたる部位では下地表面の温度が気温より高くなる場合が多いため作業を中止するか、材料の硬化状況に充分注意しながら施工してください。
- 著しく気温が低い場合、とくに長時間日陰となる部位では下地表面の温度が気温より低くなる場合が多く、材料の反応硬化が著しく遅くなることもあるため作業は避けてください（施工可能な最低温度は5℃です）。
- 著しく湿度が高い場合（湿度80%以上）や通風・換気条件の悪い場所での施工は、材料の乾燥状況と結露の発生に充分注意しながら施工してください。
- 施工の際には周囲への飛散・汚染の防止に必要な養生を確実に行ってください。
- 強風時は十分な養生ができないだけでなく、周辺を汚染する恐れがあるため作業は避けてください。
- 施工時にはヘルメット・保護手袋・安全靴等の防護対策を確実にを行い、さらに必要に応じて保護メガネや防塵・防毒マスクおよび安全帯を着用してください。
- 施工用の装置・機器等はできるだけ施工箇所付近に設置し整理・整頓を心掛け、また作業員以外が立ち入らないようにしてください。

〈 防水層の損傷防止 〉

- 施工中また施工直後は防水層の損傷を防止するために硬化状況をよく確認するとともに、以下のような状況では適切な保護養生を行うよう、関連工事関係者への注意を徹底してください。
 - ・火花の散る恐れのある作業
 - ・運搬車の通過や梯子・脚立等の使用
 - ・器具・設備等の取付け

〈 その他 〉

- 施工で発生する残材および廃材・廃液は整理・分別をし、所定の手続きを行った上で公認の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理してください。

■ 「AK工法（露出アスファルト防水改修）」「EK工法（塩ビシート防水改修）」「SK工法（アスファルトシングル葺き改修）」の適用下地基準と注意事項について

「AK工法」「EK工法」「SK工法」は既設防水層を撤去せず、かつ絶縁シートを使用せずにウレタン塗膜防水・密着工法にてかぶせ改修を行う「省エネ改修工法」です。

既設防水層の劣化状況が比較的軽度である場合のみ適用が可能となります。

また適用可能な場合でも仕上り等でご注意いただく事項がありますので、以下をご参照ください。

〔1〕適用下地基準

〈 AK工法 〉

- 既設防水層の大部分で、表面の骨材が剥れアスファルトルーフィング本体が露出している場合は適用不可とします。
- 既設防水層の大部分で、表面に微細なひび割れと剥れ（マッドカーリング現象）が発生している場合は適用不可とします。
- 既設防水層の大部分で、切開を伴う下地処理を多数要する場合は適用不可とします。
- その他既設防水層水層の大部分で不具合（浮き・膨れ・シワ・剥れ等）が見られる場合は適用不可とします。

〈 EK工法 〉

- 既設防水層が機械的固定工法で、シートの固定状況に不良がある場合は適用不可とします。
- 既存防水層の大部分で、切開を伴う下地処理を多数要する場合は適用不可とします。
- その他既設防水層の大部分で不具合（浮き・膨れ・シワ・剥れ等）が見られる場合は適用不可とします。

※「施工面」とは既設防水層で床面、および撤去しない場合の立上りを指します。

立上り防水層を撤去する場合は、この「施工面」に含みません。

「ZHAK工法」「ZHEK工法」ともに上記基準に照らし合わせて適用不可となった場合は、「通気緩衝工法」を適用してください。

〈 SK工法 〉

- 既設アスファルトシングルの大部分で、表面骨材が剥れている場合は適用不可とします。
- 既設アスファルトシングルの大部分に剥れや欠損、浮きが見られ、これらを下地処理で処置できない場合は適用不可とします。

〔2〕注意事項

■ 既存防水層立上り部の処理について

ウレタン塗膜防水による改修工事では、「公共建築改修工事標準仕様書（以下：標仕）」等に従って、既設防水層の立上り部は原則撤去（既設防水層がウレタン塗膜防水の場合を除く）となります。

「AK工法」および「EK工法」において諸事情（既設防水層撤去時のリスク回避等）により立上り部の撤去を行わない場合は、当該部位に不具合（浮き・膨れ・シワ・剥れ等）が発生しないことを確認した上で、関係者各位に対し下記事項の事前了承を得てください。

- 「標仕」の記載事項に沿わない改修工法であること。
- 躯体と既存防水層の界面剥離等の不具合が発生する可能性があること。
- 既設防水層の立上り部の処理（アンカー固定等）が別途必要になること。
- 既設防水層端部周辺の処理（押え金物周りの絶縁処理・シーリング打替え等）が別途必要になること。

■ 新規防水層の仕上がり性について

「AK工法」および「EK工法」は工法の特性上、以下のような現象が発生する場合があります。

- 既設防水層および躯体の凹凸や不陸の影響によって、平滑な仕上がりにはならないこと。
- 既設防水層および躯体の凹凸や不陸の影響によって、着手前と比べ水溜りが発生しやすいあるいは目立ちやすくなる場合があること。
- 当社指定外のプライマーを選択した場合、「ブリード現象（新設のウレタン塗膜防水層の表面に変色や著しい汚れの付着が生じる現象）」等の不具合が発生する場合があります。
- 当社指定外のトップコート（保護塗料）以外の仕上げを選択した場合、「ブリード現象」等の不具合が発生する場合があります。
- その他当社指定外および推奨外の製品の使用または施工方法を行った場合、「ブリード現象」等の不具合が発生する場合があります。

「SK工法」は工法の特性上、以下のような現象が発生する場合があります。

- 既設アスファルトシングルの風合いが変化すること。
- 新規防水層の仕上げが、下地凹凸やローラー施工の特性、また太陽光の照射角等の影響によって必ずしも均一にならないこと。
- 状況により雨汚れ等が目立ちやすくなる部位があること。
- 当社指定外のプライマーを選択した場合、「ブリード現象」等の不具合が発生する場合があります。
- 当社指定外のトップコート（保護塗料）を選択した場合、「ブリード現象」や「アスファルトの軟化・溶解・変形」等の不具合が発生する場合があります。
- その他当社指定外および推奨外の製品の使用または施工方法を行った場合、「ブリード現象」や「アスファルトの軟化・溶解・変形」等の不具合が発生する場合があります。